

平成24年度新規補助金及び増額等補助金に係る各委員評価一覧

1. 新規補助金 (5件)

番号	補助金等名称	24年度 要求額	新規補助金に係る評価及びコメント		
			委員	総合評価	コメ ン ト
54	私立保育所放射性物質除染 事業補助金	3,171	伊藤	A	いま最も不安がられている問題だけに、効果等に疑問はあるものの、補助の必要はある。
			山口	A	原発事故により発生した放射性物質の除染は、子どもたちの安全・安心を確保するためにも最優先に行うべきものであり妥当である。
			柴	A	現時点で緊急かつ必要な措置
			西村	A	当経費は、本来、加害者(東電・国)が負担すべきものと思料するが、園児の安全安心・健康確保上緊急に対策を要する事項。また子育て支援施策上、すべてを保護者・施設管理者負担とするには難あり。新規支援可。
			廣田	-	-
			前田	A	総合評価はA、効果は結果を見なければ分からないB。
			松本	A	市民の要望強く、緊急性もあり、効果も認められ妥当。
107	私立幼稚園放射性物質除染 事業補助金	2,700	伊藤	A	いま最も不安がられている問題だけに、効果等に疑問はあるものの、補助の必要はある。
			山口	A	原発事故により発生した放射性物質の除染は、子どもたちの安全・安心を確保するためにも最優先に行うべきものであり妥当である。
			柴	A	現時点で緊急かつ必要な措置
			西村	A	当経費は、本来、加害者(東電・国)が負担すべきものと思料するが、園児の安全安心・健康確保上緊急に対策を要する事項。また子育て支援施策上、すべてを保護者・施設管理者負担とするには難あり。新規支援可。
			廣田	-	-
			前田	A	総合評価はA、効果は結果を見なければ分からないB。
			松本	A	市民の要望強く、緊急性もあり、効果も認められ妥当。
80	商業団体事業運営資金利子 補給金	310	伊藤	B	効果、公平性等に疑問があり、総合評価でB。
			山口	A	流山市が事業提案を行いスタートした「流山共通ポイントカード事業」での端末機導入にかかる経費に対する支援であること、また平成29年度までの時限事業でもあり妥当である。
			柴	-	-
			西村	A	商業協同組合の共通ポイントカード事業導入等に伴う銀行借入金の利子補給金。本来、協同組合経営は自助努力が基本であるが、借入金導入時の端末機設置一時金に充てたものでもあり、当制度(ポイントカード事業)の定着化に向け、当面、支援可としたい。
			廣田	B	-
			前田	B	趣旨、目的は理解するが、現在は中小商店にとどまり圧倒的なスーパーなどの参加がなければ市民レベルの成果は上がらないB評価。
			松本	B	本事業は当面見守るしかないが、早くも無駄発生。H26年度見直し期待。
91	街づくり組織活動費補助金	100	伊藤	C	内容、効果、公平性等々、不明確な点が多く、必要性に乏しい。
			山口	C	市民参加型の良質で魅力的な街づくりを実現するという考え方には共感できるが、補助効果に疑問。また、零細補助事業を新設することにもなり、再検討を求める。
			柴	-	-
			西村	B	良質で魅力的なこれからの街づくりに向け地域市民の知恵と力を組織した地域ブランドづくりの必要性は認められ当プランの趣旨は肯ける。しかし適正化実行プランからは当面の補助対象事業、経費等に具体性を欠き公平性、効果等が読めない。少額といえ新規補助金事業化にあたっては更なる検討の余地があると思料する。
			廣田	C	-
			前田	B	地域街づくり組織は、まちづくりの一つと思われる、地域の小単位地区の組織であるが、簡単に組織化されるのが、地域設定や規模、合意形成など疑問B評価。
			松本	B	街づくり活動の内容が不明で要検討。
97	自主防災組織防災資機材整 備事業補助金	1,000	伊藤	A	防災は地域住民の安全・安定にとって必要不可欠。
			山口	A	地域の防災活動の促進を図り、安全な地域社会の推進に寄与するため、自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資機材の購入に要する経費の一部を補助するためのものであり妥当である。
			柴	-	-
			西村	A	自治会単位の自主防災組織に対し必要防災機材の整備を支援するもの。東日本大震災後において市民の地域防災意識の高まりも図られ、新規支援可。
			廣田	A	-
			前田	A	自主防災組織は必要である。地域自治会でも自主防災組織づくりが進んでいると聞く。A評価。
			松本	A	防災資機材整備は常時必要。車イスを追加。無線機は不要。

2・増額等補助金（11件）

番号	補助金等名称	24年度 要求額	前年度 予算額	対前年 比較	答申 評価	増額等補助金に係る評価及びコメント		
						委員	総合評価	コメント
4	地域まちづくり協議会補助金	1,000	1,000	0	C	伊藤	C	91番と同様に、必要性に疑問あり。
						山口	C	地域における諸課題等を地域全体で解決するという理念は十分理解できるが、前回答申でも指摘したとおり、当該協議会の事業内容・目的と自治会等既存組織との棲み分けが依然として不明確である。補助事業として継続するからにはかかる点をより明確に示すことが必要である。再検討をを求める。
						柴	-	-
						西村	B	少子高齢化等から既存自治会等の地域活動衰退等による諸課題の解決を図るため小学校区単位での地域コミュニティを充実させることにより、より広域的な市民自治意識を醸成し地域での諸課題を、市民と協働して自主的に解決していく「まちづくり(地域再生)」を目指す活動と理解する。しかし当適正化実行プランや2モデル試行の検証からは、成果として既存地域をまたがる通学路整備、歩道整備、地域祭り共同主催等を紹介しているが、その過程からはそもそも2-ズであった底辺にある既存自治会が抱える真の悩みや暮らしづくり(会員高齢化等による自治運営への障害<役員の負担感増や成り手不足、高齢化に伴う課題解決能力低下等>、会員加入率の低下、行事参加率の低下等)への具体的な支援活動の繋がりがいま一つ見えてこない。結果として協議会は自治会等既存団体の上層に位置付けられ2重構造は否めない。また活動経費についても補助金一辺倒でない財源を深耕していく必要があると思料する。
						廣田	C	-
						前田	B	4回目の説明で自治会の現状説明があったが、答申が指摘した既存組織の位置づけは依然として不明確。更なる疑念が出ており、解明の整理した資料を見て判断する。
						松本	C	社協、保健センター等との関係が不明で、屋上屋を重ねる。
8	自治会館維持管理費(大規模修繕・冷暖房機器設置)補助金	5,860	2,260	3,600	A	伊藤	A	地域の第一線で活動している組織ゆえに、会館維持管理の補助は必要。
						山口	A	地域コミュニティづくりの中心的活動を行う自治会の活動基盤である自治会館を維持管理していく上で、建物等の老朽化などへの対処から補助の上限を現行100万円から300万円へ引き上げるものであり妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	自治会の会館(7自治会・8設備)の老朽化による大規模修繕等に対する補助。増額は一部補助枠拡張にも起因するが個別工事の積み上げ結果のもの。支援可。
						廣田	A	-
						前田	A	要綱を改正する(上限額改正)現状の設備の劣化による修繕工事が増大し、それに対応する増額で、A評価。
						松本	A	コミュニティの核で必要不可欠故、補助率明確にして行うこと。
10	防犯灯電気料金等補助金	40,275	34,050	6,225	A	伊藤	A	防犯は、地域の安全、明るい街づくりにとって最も重要。
						山口	A	犯罪の未然防止等、安全・安心なまちづくりに寄与する防犯灯の自治会負担電気料金への一部補助であり、電気料金の値上げに伴うものであることから増額は妥当である。ただ、電気料金節減のための努力(LED防犯灯への切替など)についても引き続き行うよう要望する。
						柴	-	-
						西村	A	自治会が負担する防犯灯電気料金の一部補助。増額要求は電気料値上げによるもの。継続可。(電気料一括払による経費減、LED化による節電策を図るものの防犯灯電気料金自体のさらなる節電要請は無理と思料する。)
						廣田	A	-
						前田	A	電気料金の値上げ月31円の増加になり、それに対応する補助金の増額でありA評価
						松本	A	犯罪の未然防止に有効で、工夫もされており妥当。
29	障害者支援施設等通所交通費助成金	3,624	3,083	541	A	伊藤	A	人の助け合い、障害者の社会参加を促す上で、補助は必要。
						山口	A	利用者の増が見込まれることによる増額であり妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	障害者への扶助的な意味合いが濃いが、増額は支給対象者増加見込によるもの。継続支援可。
						廣田	-	-
						前田	A	前2回の答申はA評価でありA評価とする。
						松本	A	本来事業所負担であるべきだが、本件で通所が進むなら仕方ない。
38	就労支援施設利用者負担助成金	306	282	24	A	伊藤	A	人の助け合い、障害者の社会参加を促す上で、補助は必要。
						山口	A	利用者の増が見込まれることによる増額であり妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	障害者への扶助的な意味合いが濃いが、増額は支給対象者増加見込によるもの。継続支援可。
						廣田	-	-
						前田	A	前2回の答申がA評価であり、A評価とする。
						松本	A	障害者の就労支援施設利用料の1割負担補助は、仕方ない。
55	私立保育所AED設置事業補助金	582	560	22	A	伊藤	A	命に関わることは何にも増して重要なため、補助は必要。
						山口	A	私立保育所が新たに開園されることに伴う増額であり妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	施設管理者負担が本筋と思料するが、本器設置は、保育児童の健康維持、子供の安全安心等子育て支援の一環。増額は保育所増設に伴う設置台数増によるもの。継続可。
						廣田	-	-
						前田	A	前2回の答申がA評価であり、A評価とする。
						松本	A	私立保育所も公共施設に次いでAED設置は妥当。

62	再生資源物回収事業奨励金	117,132	88,052	29,080	A	伊藤	A	資源の重要性、廃棄物の減量化にとっても重要で、補助は必要。
						山口	A	24年4月から、行政回収を廃止し、集団回収に一元化されることによる増額であり妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	増額分は、行政回収を廃止し、集団回収一本化することに伴うもの。当奨励金の基礎となる単価の適正維持には努力する姿勢にあり、移行後の市全体回収経費としては今年度とトントンの見込。継続・増額可。
						廣田	-	-
						前田	A	前回の答申がA評価であり、A評価とする。
						松本	A	再生資源の集団回収は、市 - 委託業者 - 自治会で円滑運営。
78	土地改良施設維持管理費補助金	3,500	3,167	333	B	伊藤	C	効果、公平性等に問題がある上、国・県補助困難にみられるように重要性が薄い、などから、補助は妥当でない。
						山口	B	灌漑排水施設の維持管理及び農地の保全等を行うことにより、水害の防止、水稻の生産性向上に資するとともに、市民生活の安全確保に寄与するための事業で、5土地改良区における揚水施設（井戸）の老朽化に伴う改修工事等のための増額であり概ね妥当である。
						柴	-	-
						西村	B	都心近郊市街化地域である当市の立地事情からみても市の農業振興策全体検討の中で総合的な見直しが見込まれるが、老朽化施設の改修、堰新設、灌漑排水施設等の維持管理は、5土地改良区内部の問題にとどまらず農地保全、防災等の観点からも必要と思料する。継続・増額可。
						廣田	B	-
						前田	A	23年度に対し算出基準の額9,500万円を10,500万円に増加したことによる333,000円の増額で増額に部分に対しA評価。
						松本	B	水田の諸機能から必要だが、自己負担の範囲と時期を明確に。
79	中小企業資金融資利子補給金	14,925	13,042	1,883	B	伊藤	A	公平性等に問題はあっても、厳しい経済状況下で、補助はやむをえない。
						山口	B	事業経営は自助努力が基本であるが、市内中小企業者の経営の安定及び育成・振興に寄与している制度でもあり、増額については現下の厳しい経済情勢を考慮し、23年度実績をベースにしたものであることから概ね妥当である。
						柴	-	-
						西村	A	私企業経営の基盤強化策等は本来は自助努力が基本であるが、当制度は市内小零細企業の育成・振興に寄与している。近時の景気低迷等を受け増額要求ではあるが、前年実績比ではほぼ同額。継続可。
						廣田	B	-
						前田	B	前2回の答申も、必要性を認めながらも、長期補助金、公平性などに課題があり検討が必要としてB評価とした。今回増額であるが基本は同じでありB評価。
						松本	B	市内中小企業の育成と振興に必要なが、補給率は妥当か。
85	流山市花火大会事業補助金	6,000	5,000	1,000	A	伊藤	A	市民あげての大会として盛り上げる必要はあるが、地域によって交通の便が悪く、臨時便等で市民公平に恩恵が及ぶよう期待したい。
						山口	A	「夏の風物詩」として定着し、市内外に流山市のPR及び観光の目玉ともなっている花火大会事業への補助で、市制45周年記念大会となる来年度は多数の来場者が見込まれることから、その安全確保のための警備体制の強化及び輸送体制の増強等を図るための増額であり妥当
						柴	-	-
						西村	A	平成24年は市制施行45周年にあたるため記念行事として計画し増額要求。実施にあたっては有料観覧席増設等の検討を進める等努力姿勢にある。更に関係団体当局とも連携を密にし、収入面においても独自財源増加を模索する等一層の自助努力が見込まれるが、継続・増額可。
						廣田	A	-
						前田	A	流山市の花火大会も有名になり、市民のみならず近隣や遠くの方もこられる。参加数が多くなると事故の心配があり、強化すべきであるA評価。
						松本	A	市の観光事業の目玉であり、45周年記念事業として妥当。
104	私立幼稚園心身障害児指導補助金	400		50	A	伊藤	A	心身障害児が社会から取り残されないよう、成長の健全化に向けて補助してあげたい。
						山口	A	対象園児数の増に伴う増額であり妥当である。
						柴	A	説明によれば、来年度入園予定児が1名増とのことで補助金の増額は妥当
						西村	A	私立幼稚園の心身に障害のある園児の幼稚園指導費の助成。増額は対象園児数の増加見込によるもの。継続可。
						廣田	-	-
						前田	A	前答申もA評価であり、一人の増加に対応するものでA評価とする。
						松本	A	心身障害児の受入促進策で教育の平等性からも妥当。